

vol. 2327

【発行】大分県高等学校教職員組合教宣部 大分市大字下郡496-38 大分県教育会館  
TEL / (097) 556-2838 FAX / (097) 556-8998 MAIL / ohtwu@view.ocn.ne.jp

# 大分県高教組情報

【発行者】大野 真二 【印刷】(株)佐伯コミュニケーションズ 【売価】30円(組合員の購読料は組合費の中に含んで徴収しています)



## 今号の掲載内容 (掲載順)

- 第504回中央委員会
- 高教組フェスタ2024
- 第14回九協臨時採用教職員等全国交流集会 参加報告

\*\*\*\*\*

## 第504回 中央委員会

とき：12月14日(土) ところ：教育会館 多目的ホール

第504回中央委員会を開催し、定期大会以後のとりくみの総括とこれからの運動方針を協議しました。

冒頭、大野委員長による挨拶があり、激動する国際情勢、国内情勢の中で、反戦平和のとりくみの重要性が高まっていることや、学校現場での超勤縮減を進めていくためのとりくみの強化の必要性が語られました。私たちのとりくみの一つひとつを着実に進めていくことが、職場環境や教育環境の改善につながることを確認しました。

### ■ 委員長挨拶 (要旨) ■

第504回中央委員会の開催にあたり、執行委員会を代表してごあいさつ申し上げます。

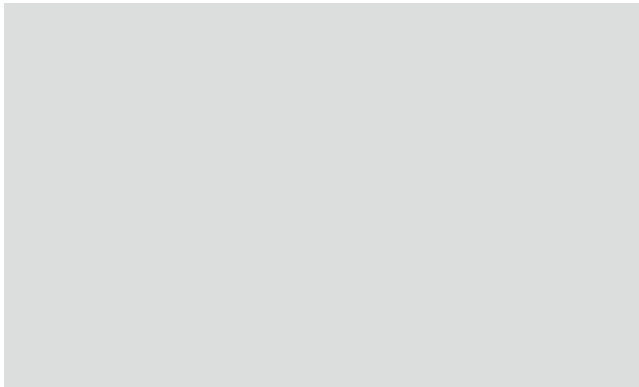
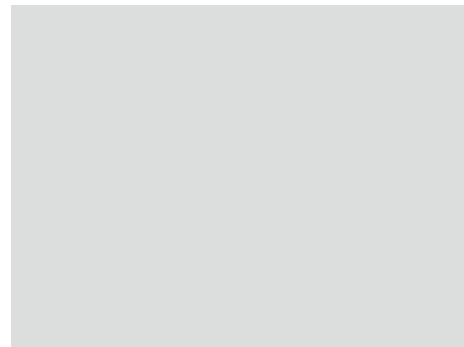
まず、10月に行われた総選挙のとりくみ、大変おつかれさまでした。結果として自公政権を過半数割れに追い込むことができましたが、大分県内では、結果的に前回同様の議席獲得となり、全国的に吹いた自公政権への批判をうまく取り込むことができませんでした。特に2区の「吉川はじめ」については事前には優勢という情勢でしたが、まるで広瀬勝貞前知事とたたかっているかと思える状況となり、悲願の小選挙区勝利を勝ちとることができませんでした。とはいえ、少数与党となった第2次石破政権は、これまでの自公政権のような

強権政治を進めることができるはずもなく、政権に反対する意見がうまく政治に反映されるかどうかが目まぐるしく注目されます。

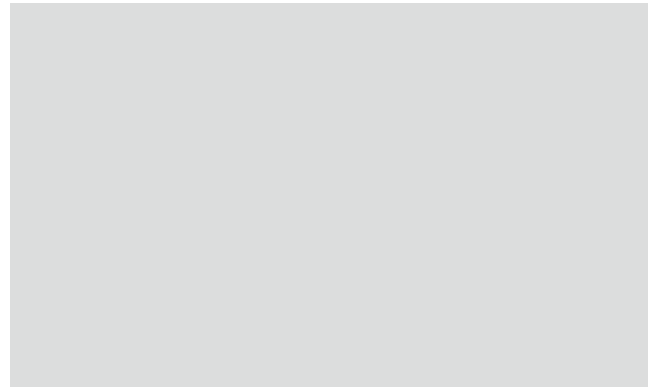
学校職場においては、中教審の答申を受け文科省が教職調整額の大幅アップを打ち出しましたが、財政審議会で、財務省は学校職場における働き方改革を条件とした段階的な増額を主張しており、今後の協議が注目されます。しかし、どちらの省の案も、給特法存続が前提であり、根本的な解決につながるものではありません。私たちが求めているのは、超勤に見合う手当ではなく、「定時で帰れる職場」です。今後とも給特法の廃止、あるいは抜本的改正を求めて運動を進めなければなりません。

アメリカのトランプ次期大統領は、同盟国にも応分の負担を求めると公言しています。日本に対して、岸田前首相がバイデン大統領に対して約束した軍事費増額が、次期大統領からさらに強く求められそうな状況となっています。あわせて、国内で進む軍事力強化について、しっかりと反対しなければなりません。

来年2月の大分市議選を皮切りに4月には各市長選市議選が行われ、そして7月には参院選が行われます。総選挙や先月行われた兵庫県知事選で、選挙においてSNSが情勢に与える影響が大きく取り上げられました。一議席を争う国政選挙や首長選挙などでは、今後無視できない状況となりましたが、多くの議席を争う議会議員選挙では、これまで通り、選挙に対する組織の力が問われます。大分市議選での支援候補の勝利を勝ちとり、来夏の参院選では大分選挙区「吉田ただとも」比例区「みずおか俊一」の勝利につなげましょう。



議長：藤岡 親也さん（鶴崎工業分会）  
（左から）酒井 拓さん（宇佐分会）

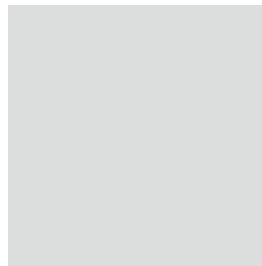


議事運営委員：末永多香光さん（もう分会）  
（左から）平山 斉昭さん（三重総合分会）  
茨木 里香さん（玖珠美山分会）

■ 意見・討論 ■

◇情勢について

大分西：支援学校についての記述がない。きちんと触れるべきではないか。

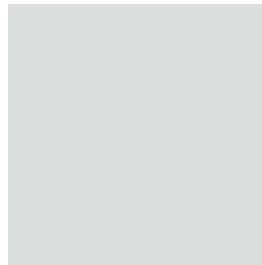


◇遠隔授業について

大分西：現場からの要請によるものなのか。トップダウンなのか。現場には連絡がないまま準備が始まり、混乱が多いと聞く。

また、「質の高い学び」という表現は、現場で働く者に対して失礼な話だと思う。

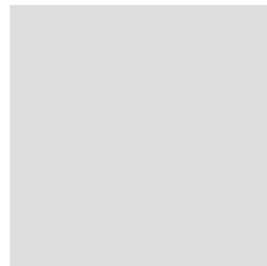
宇佐：来学期にむけて準備をしている。英語は教科書が、現在学校で使用しているものと別のものになる。トップダウン。少人数授業や個別添削をやっているのに…という思いがあり、担当教科の教員のモチベーションが下がっている。何が求められているのかを現場に聞いてほしい、と思う。



◇高校生平和大使について

宇佐支援：ノーベル平和賞については、高校生平和大使が日本被団協と同時受賞したと思ってもよいほどに活動している。さらに活動を広めたいという思いがある。現在、大分県内で15名が活動している。ジュネーブの国連訪問など

を実施してきた。中学校での活動報告や韓国の高校生との交流なども計画している。他県の高校生との交流などの活動を通して社会的学習ができ、人間的成長を遂げていることを強く感じる。同世代の学びは意義が大きい。次世代への継承や活動の拡大を図っていきたい。周知と支援をお願いしたい。高校生一万人署名や高校生平和大使の募集などについて、ぜひ各分会でアピールしてほしい。



◇RAMPSについて

大分西：先月提案があり、アンケート項目について職朝で示されたのみ。質問内容に刺激的と思われるものがあり、実施に抵抗感がある。内容をきちんと精査すべきではないだろうか。全国的に見ても実施している県が少ない。本当に生徒のためになる、現場の役に立つのか、という議論がなされているのか疑問に思う。データが欲しいだけではないのかと思える。

■ 本部見解 ■

- ・遠隔授業：本来、山間部や離島などを対象に行う遠隔授業を進学に特化したやり方で行っていることに対して、議案書にもあるように「到底容認できない」と考えている。
- ・RAMPS：予算を組んで行っている事業だが、現場実態との乖離が大きい。全県下での展開という事例も他県

に見られず、実施に際して事前準備が十分とは思えない。

- ・遠隔授業・RAMPSについては、各級交渉などにおいて具体的事例を集めて交渉したいと思うので、全県下の状況を教えてほしい。
- ・高校生平和大使：大分県では平和運動センターが全面的にバックアップするなど、支援体制がある。高教組としても、しっかり支援していきたい。

討論の後、採決が行われ、第1号～第4号の議案は、全て賛成多数で承認されました。その後、第5号議案「当面のとりくみ」が提案され、今後の具体的なとりくみを確認しました。

また、高野博幸大分市議によるご挨拶をいただきました。

最後に、大野委員長による団結がんばろうで締めくくりました。

## 高教組フェスタ 2024

とき：11月16日（土） ところ：サイクルショップコダマ大洲アリーナ

「高教組フェスタ2024」を11月16日（土）、サイクルショップコダマ大洲アリーナにて開催しました。今年度は、特別学習会「お金の話」、特別講習会「モルック、カローリング」、講演会「人権・同和教育っていいなあ」（講師：由布分会 甲斐孝さん）を行いました。講演会終了後は、イニミニマニモに会場を移して夕食交流会を実施しました。

【特別学習会】毎年好評の「お金の話」を今年も実施！定年延長で退職金はどうなるの？年金は？退職後の蓄えはどれぐらい必要？資産運用ってどうすればいいの？「お金」

に関する諸々について、教職員共済、ろうきんの方をお招きし、みんなで学習しました。実は、「その時」になってからでは遅い！毎年、「若いうちに聞いておけば…」と後悔する人が続出します。

【特別講習会】「モルック」「カローリング」を行いました。参加者全員、ほぼ初めての体験で、右に、左に、思ったようにコントロールできず、笑いの絶えないゲーム展開が続きました。子どもたちから「大人げない」と言われながら、なんとか大人チームが勝利。交流を通じてリフレッシュできました。

「モルック」1セット書記局にあります。分会などのレクリエーションに貸し出します。お申し出ください。

【講演会】講師である由布分会 甲斐さんの実践をもとにした講演は大好評でした。参加者は皆、人権教育が教育活動の土台であることを再認識することができました。「甲斐さんの講演を聴いただけでも参加した価値がある」「また聴きたい」という感想が数多く寄せられました。

【交流会】実行委員会企画の500gゲームやビンゴ大会は、子どもも大人も大盛り上がりでした。各テーブルで、仲間たちの、家族での、会話に花が咲き、旧交を温

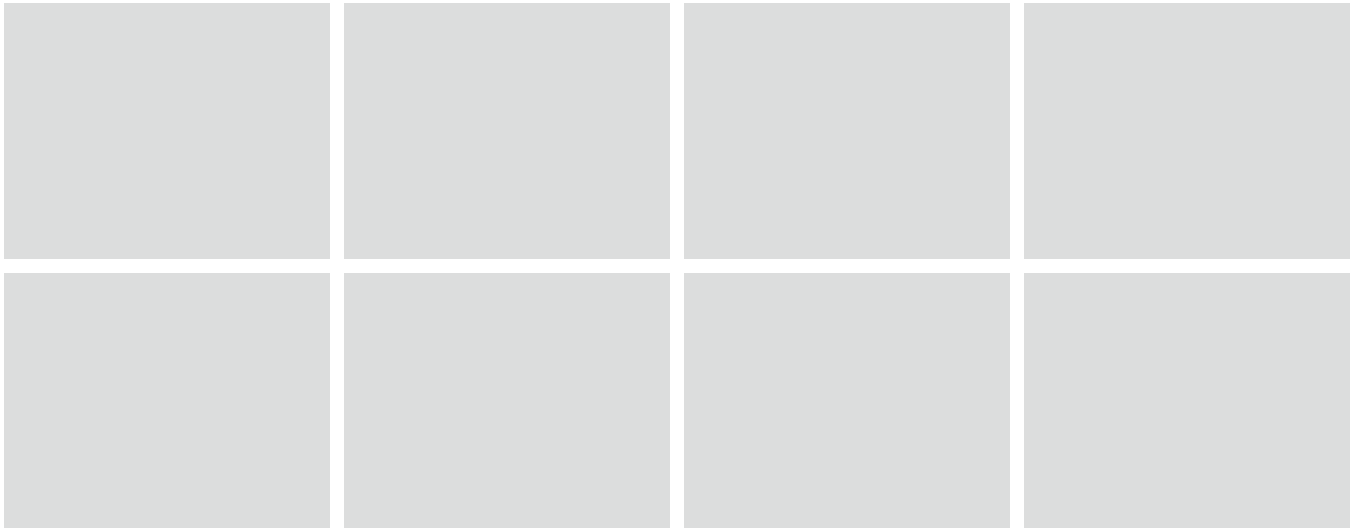
め、親交を深める様子が見られました。あらためて、集い、語ることの楽しさを実感する会となりました。

《参加者の声（抜粋）》

- ・「お金の話」人生設計について考えるよい機会となりました。甲斐さんのお話を聞いたのは初めてでした。同じ組合員なのに、なぜ聴く機会がなかったのかということを残念に思うような、貴重なお話でした。同じ学校で勤務しなかったなあと思えました。今日のお話を聞いて明日からの勤務が今までとは違ったものになりそうです。
- ・「正しい答えより適切な質問」「生徒から学ぶ姿勢」「納豆のような人間関係」…たくさんのことを学ばせていただきました。ありがとうございました。
- ・現在の勤務校でも人権HRAのときだけになってしまっていないかと、どきっとしました。若手も多い中で中堅の教員として本当に大切なことを生徒にも教員にも伝えていきたいと思いました。
- ・甲斐先生の話は、4月～5月に聞きたいと思った。年度のスタートで、クラス・学校で確認したり、思いを持ち、取り組んだりしていけると思う。とても良い話で、自分を見つめ直す機会となった。人権は大事だと思っているが、日常で実際どうなのか…。人権を根底に教育活動を続けていく。
- ・家族で楽しめるようなゲームやビンゴと、とても楽しく、人見知りの我が子も気づけば楽しんでいて本当にありがたかったです！ありがとうございました！久々に、組合のつながりの良さを感じることができました。

実行委員長 田畑幸子さん

多くの仲間がいる、そのありがたさと喜びを実感できる瞬間を、これからも大切にしていきたいと思います。実行委員の皆さん、お疲れ様でした。参加者の皆さん、ありがとうございました。



\*\*\*\*\*

# 第14回九協臨時採用教職員等交流集会 参加報告

とき：11月23日（土・祝）24日（日）

ところ：鹿児島県教育会館

今回、初めて「臨時採用教職員等交流集会」へ参加しました。1日目は、開会行事として参議院議員の古賀ちかげさんの活動報告があり、今の臨時的任用職員等の処遇に対しての現状を話していただきました。講演は「臨時・非常勤教職員等全国協議会のとりくみ」日教組政策局 労働政策 薄田綾子さんでした。「なぜ同じ仕事をしているのに、処遇の格差があるのか」を強く主張されていました。そのあと分散会では、各県の非正規雇用の現状を聞き、同じ校種でも様々な厳しい状況で不安になり、悩みを改善することが必要だと実感しました。2日目はそれぞれの分散会の報告となりました。また、今後このような集会有ったらぜひ参加して意見交換し、少しでも処遇改善があるといいなと思いました。ありがとうございました。

（竹田分会 伊勢嶋美香）